

市郡連リーダー研修会を開催

単P代表ら、子育て探る

佐賀県PTA連合会の「市郡連リーダー研修会」が1月21日、佐賀市のホテルマリタール創世で開かれました。県内の単位PTAの代表ら172人が、致知出版社取締役の藤尾佳子氏の講演などを聞き、子育てのヒントを探りました。



子育てのヒントなどを探った市郡連リーダー研修会。佐賀市のホテルマリタール創世。

致知出版社・藤尾氏が講演

講演Ⅰでは、藤尾氏が「生きる力を育てる子育てのための人間学」の演題で講演しました。同出版社は人間学を学ぶ月刊誌「致知」を発行しており、藤尾氏は「人間学とは一つしかない尊い命をどう生きるのか学ぶこと」と説明。「今は未来が見えない時代。子供が先の人生を生き抜くためには、心が愛で満たされていることが大切」と呼び掛けました。



講演した藤尾佳子氏＝佐賀市のホテルマリタール創世

講演Ⅱでは、佐賀県教育委員会プロジェクト推進室の担当者が「IT授業模擬体験」を実施。導入が進むICT教育について「児童生徒1人1人の能力に合わせた教育ができる」とメリットを強調し、学校での現状や課題などを紹介しました。またタブレット端末を使った模擬授業を実際に行い、参加者の代表が使い心地などを確かめていました。



タブレット端末を体験する参加者。佐賀市のホテルマリタール創世。

リーダー研修会に参加して



大川内小育 川口美香さん

「人間学と「子育て」という私には少し難しいテーマに戸惑いながら講演会に臨みました。ただ、講師の藤尾先生が子育てに奮闘している母ということもあり、子育てと人間学の関係をわかりやすく紐解いていただきました。いつもの何気ない子育て

「1人の人間」として

のの一つ一つが、その子の人間形成の基礎、人として「当たり前」の基準を作っているということに気づかされました。私たち保護者は「大人」という立場で子育てをしがちだと思います。人生経験が少ない子供とはいえ、「1人の人間」。自分と違う一つの人格を持った人間として尊敬の念を持ち、そしてその子の可能性を信じて接することが、これからの子育て、またPTA活動には必要だと感じました。



北茂安中P 松信真冬さん

ICT、一緒に学びたい

図なのか絵なのか分からない1枚の紙が資料に入っていました。ひげを生やした男性を見つけたら、人もいれば教えられても分からない人もいました。これが複数を一度に教える限界だという説明に納得しました。

把握することが可能なコミュニケーションのツールであると感じます。またアプリケーションをうまく使えば、教職員の残業も減らすことができるはずだと思います。先生方もぜひアプリケーションを使いこなす学習をしてください。

P（親）もA（教師）も地域も、このICT利活用は一緒に学ぶことができます。よい材料だと感じました。同時に「大人として子供に教えることはいったい何？」とあらためて考えさせられました。

子育て応援メッセージ

ともに学び！
ともに成長！

♥つながろう！
元気にあいさつ 笑顔でね

♥受けとめよう！
子どもの心メッセージ

♥見守ろう！
地域ぐるみで輪になって

♥育もう！
食卓でつくる 家族の絆

♥伝えよう！
感謝の気持ちありがとう

♥話し合おう！
ルールを守って 情報モラル

35年の信頼と実績



5日間 春期講習 小2～中3 体価格 2,400円

2023年 中学受験 合格実績 致遠館中 26名 附属中 7名

大学どこを目指す?? 自習室完備 丸田塾高等部 3月中旬開校!

11名全員が教職現場での経験豊富な正社員講師です

お問い合わせは各教室まで! 兵庫本部教室 小城三日月教室 城北教室 新栄教室 大和教室 鳥栖教室



What's あなたの未来予想図

春は巣立ちの季節であり、新しいことを始めるのにふさわしい時期です。佐賀県内でも多くの子供たちがそれぞれの夢に向かって新たなスタートラインに立っています。慣れ親しんだ小学校を卒業して中学校という新しい環境に踏み出す小学6年生と、受験という初めてのハードルに挑む中学2年生に、それぞれの「未来予想図」を聞いてみました。



三日月小6年
坂村あんなさん

人に寄り添う看護師に

私の将来の夢は看護師です。看護師を目指したいと思ったきっかけは、医療系のドラマを見て、人を助ける仕事は素晴らしいなと思ったからです。病気の人が不安なときに寄り添って、少しでも楽な入院生活や通院生活を送ってもらいたいです。しかし看護師は簡単な仕事だとは思っていません。人の命に関わる仕事で、少しのミスも許されないし、常に緊張感を持って働かなければいけないので、勉強を頑張り、夢を叶えたいです。



大浦中2年
杉崎涼音さん

美容で人を笑顔に

私の将来の夢は美容に携わる仕事に就いて、たくさんの人を笑顔にすることです。現在、性別関係なく美容に関心を持つ人が増えています。また、自分の容姿などにコンプレックスを抱えている人も多いと思います。私はコンプレックスを抱えている人たちの悩みを聞き、その人に合った美容方法を提供できる仕事をしたいと思っています。美容を学ぶための学校へ進学し、視野を広げて多くの人と関わり、夢に向かって突き進んでいきたいです。



大坪小6年
平野源二さん

JRAの騎手になる!

僕が初めて競馬を知ったのは4歳ぐらいのころでした。父とテレビで武豊さんがでているレースを見て、ほくもこんな風に馬に乗って早く走りたいなと思いました。3年生のころ乗馬を始めました。始めたころは怖い気持ちが強すぎてうまくいかなかったけど、今では楽しく馬と会話しながら乗ることができています。これからもっと努力して騎手になります。そして武豊さんのようにたくさん勝ってみんなに慕われる騎手になりたいです。



三田川中2年
中島季杏さん

伝える仕事をするために

私は将来、映像系の仕事に就きたいと思っています。夢を叶えるには勉強や絵、PCの扱い方などたくさんのことを学ばなければいけません。その中でも勉強は行きたい高校に行くためにも必要です。苦手な教科を後回しにせず、今から頑張っていきたいです。そして、学んだことを生かして自分らしさがあり、見る人の心を動かす、楽しくワクワクするような映像を提供し、感動と喜びを与えられるような仕事をしていきたいと思っています。



曲川小6年
永留宙奈さん

夢は医療従事者

私の夢は、医療従事者になることです。幼いころ、私は小児ぜんそく予備軍で病院に通っていました。その病院で看護師さん、女医さんがいつも優しく接してくれる姿を見てかっこいいと思いました。周りの人の中には、病院が苦手な人が多いけど、私にとっては病気で困っている人を救う大切な場所だと思っています。たくさん勉強して、経験を積み、夢である医療従事者になれるように頑張りたいと思っています。

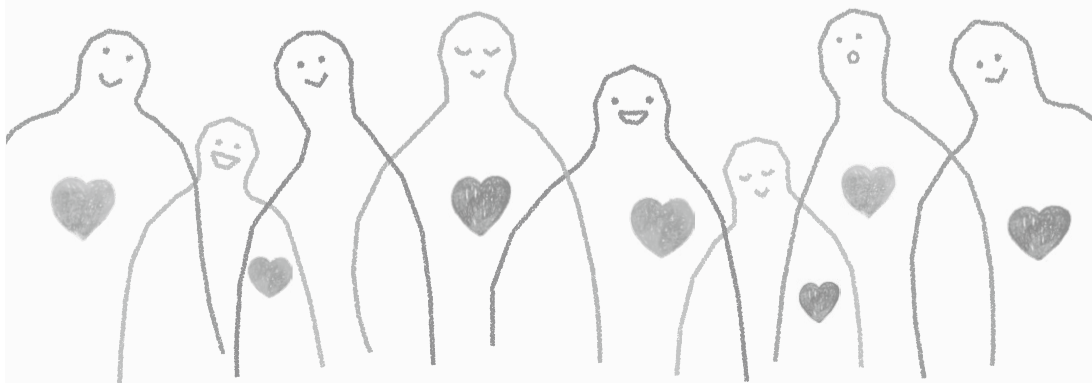


城南中2年
井口煌太さん

ゲームでみんなを笑顔に

私の将来の夢はゲームクリエイターになって多くの人を笑顔にすることです。小さいころから絵を描いたり、ゲームをしたりすることが好きなので、その二つができるゲームクリエイターになりたいです。そして多くの人に笑ってほしいです。そのためには今から絵を描いたり、自分なりにゲームを考えてみたりしながら、人間関係を学び、将来に生かしていきたいです。

ひとりじゃないって 気づいたんだ。



心が傷ついている時に、「どうしたの?」「だいじょうぶ?」と声をかけてくれた人。話を聞いてくれた人。ほらね、ひとりじゃない。いつも誰かがそばにいたことが、もっと伝わりますように。心の声に気づき合えたら、きっと悩める人の力になれる。あなたもゲートキーパーです。

市郡連会長に聞く

県内に13ある市・郡・地区PTAの会長を順番に紹介します。それぞれの地区の自慢や課題、今後の展望について語ってもらいます。

第15回

伊万里市 **西靖幸** 会長



にし・やすゆき

多久市出身。結婚を機に伊万里市に移住。現在は賢海寺住職と牧島保育園園長を務める。3児の父親として子育て奮闘する傍ら、家庭教育や地域連携、過疎対策にも取り組んでいる。お世話になった教頭先生からいただいた名言「P(ぱっと)T(楽しく)A(集まろう)」を心に刻む。山代東小PTA、49歳。

「結束力」で課題に向き合う

◆PTA役員を受けたきっかけは何ですか。実際に役員をやってみた感想は？

「君ならやれる」と言葉を掛けていただいた市連P元会長が急逝。なぜ自分にお声掛けいただいたのか尋ねることはできませんでしたが、市連P前会長(急逝された元会長時代の副会長)のもと副会長を拝命し、熱意に触れました。あらためて「次代を託したい」とお言葉をいただき、むげにできないとの思いから引き受けました。いろんな方との出会いを通じて人脈を広げ、知見を深めることができました。

◆市連Pの自慢できるどころは何ですか？

一言でいえば、「結束力」です。昨年12月の九P研究大会「おきなわ大会」の際に、次の開催県として「佐賀大会」のPR活動がありました。そこで急なお願ひ事にも関わらず、市連Pメンバーの複数人が協力してくれた時などは大変心強かったです。

◆市連Pを運営していく上で課題はありますか？

さまざまな問題が山積しています。しかし、市教委と昨年6月に連携協定を締結しました。今後は、市教委と市連Pが一枚岩となって教育の充実・発展に寄与したいと思えます。

◆今後の市連Pの活動をどのように進めますか？

市街地(大規模校)における放課後児童クラブ待機児童問題、郊外地(小規模校)の少子化による複式学級解消のための小中学校統廃合問題など、各地区が抱える問題は似て非なるものです。市連Pとしては情報収集やその提供を通じ、会員相互の交流と活動の活性化に努めたいと思えます。

(聞き手・平野安希 編集委員)

新春読書感想文コンクール

県P会長賞に5人



寄せられた感想文を読む審査員
=佐賀市の佐賀新聞社

県PTA連合会長賞

- 内山倅輔 (大川内小1年)
- 井手謙仁 (塩田小3年)
- 藤本彩花 (神野小6年)
- 森山佳澄 (東明館中1年)
- 嘉村正司 (佐賀市)

第58回新春読書感想文コンクール(佐賀県立図書館、佐賀県学校図書館教育研究会、佐賀新聞社など主催)の審査会が、佐賀市の佐賀新聞社などで開かれました。最高賞の知事賞には6人が輝き、県PTA連合会長賞には5人が選ばれました。コンクールには小学生から一般まで約1万8千点の応募があり、県内の教諭らが審査しました。

- 日P団体表彰(2団体)
唐津市立鏡山小学校PTA
唐津市立北波多小学校PTA

- 日P個人表彰(3人)
佐伯玄一郎 (前県P会長)
森田 徹 (前県P副会長)
山口まき子 (前県P副会長)

- 全国PTA広報紙コンクール表彰
【教育家庭新聞社社長賞】
みやき町立中原小学校PTA
【佳作】
武雄市立橋小学校教育友会

受賞おめでとうございます 日本PTA全国協議会表彰



令和4年度 編集委員



〈副編集委員長〉 松信 真冬 (北茂安中)
川下 俊樹 (大浦小)

〈編集委員〉 末津美紀子 (三田川小)
森 由香理 (川副中)
古賀 邦子 (三日月中)
陣内さおり (東原岸舎西溪校)
浦川 千幸 (北波多小)
平野 安希 (大坪小)
松本 哲 (曲川小)
杉原 啓仁 (山内東小)
溝口 和則 (白石中)
蒲原 陽介 (能古見小)

編集後記

本年度も無事に県PTA新聞を発行することができました。紙面の企画や取材などで頑張っていた編集委員さんをはじめ、記事を書かせていただいた執筆者の皆さん、委員会活動を支援していただいた県P事務局の皆さんには大変感謝しております。ありがとうございました。本年度はコロナ禍も多少は落ち着き、さまざまな行事が戻ってきました。その模様を的確に伝えることを考慮しながらも、学校教育を取り巻く様々な課題や話題にも目を向けてきました。紙面でも取り上げた発達障害児の問題、部活動改革、スパーティーチャーなどは、編集委員さんから企画が出されたもので、保護者目線での記事が掲載できたと思います。より良い紙面を作ろうと丁寧に取材してくれた編集委員さんたちに重ねてお礼を申し上げます。さて次年度はいよいよ日本PTA九州ブロック研究大会佐賀大会が、10月28、29日にSAGAアリーナなどで開かれます。開催までの動きも含め、読者の皆さまにお伝えできればと考えています。今後とも変わらぬご愛読をお願いいたします。

編集委員長 瀬戸健太郎(鳥栖中)

放送大学 佐賀学習センター
教養学部 / 大学院文化科学研究科

スキマ時間を利用して、学びを愉しみ

スキルアップ

1科目から分野を
気になる分野を

入学のチャンスは 年2回 4月 10月

2023年度第1学期の出願締切は3月14日(火)まで!

教養学部の6つの分野から約300科目開講中

- 生活と福祉
- 心理と教育
- 人間と文化
- 情報
- 社会と産業
- 自然と環境

資料請求・お問い合わせはコチラから



放送大学 佐賀学習センター

0952-22-3308

https://www.ouj.ac.jp/seikyuu/

検索



うちの家訓

子育てのヒントになるような、それぞれの「家訓」を紹介します。

吉岡家の家訓

欠点を長所と捉えて

吉岡貴子(中原小P)

我が家には小学校3年生と3歳の息子がいます。お兄ちゃんの方はADHDで感情の起伏が激しく、楽しいときは本当によく笑い、悲しいときは思いきり泣きます。2人とも周りの変化にとっても敏感で、真っ直ぐな優しい心を持つ子たちです。

我が家には小学校3年生と3歳の息子がいます。せんが、日ごろから欠点を短所としてとらえずに長所とし、周りに目を向けて困っている人がいたら助けてあげてねと教えています。私が困っている時もよく手助けしてくれる子たちです。これからの成長とともにもっと人を思いやる心を育ててくれればと思います。

池田家の家訓

優しさを忘れずに

池田由香(西有田中P)

我が家は8人の大家族です。日々家族同士がお互いのことを思いながら生活できているかを考えると、少し難しいところでもあります。

我が家は長男、長女、次男と3人の子供がいます。それぞれに性格もありますが、優しさは兼ね備えて育ってくれたかなあと感じています。それは多分、両親だけでは

なく、大家族の中で生活するうちに自然と身についたのだとありがたく思う今日このごろです。自分が人にされたり、言われて嫌なことは、絶対に人にしないということも身についたと思います。

それぞれ成長し、いつかは社会に出ますが、優しさは忘れずに巣立ってほしいです。

父親日記

佐賀新聞社の教育担当記者がつづる、教育や子育てをテーマにしたコラムです

チチオヤニッキ

vol.10 うちにもコロナ

夜、娘が熱を出した。翌朝、娘は「学校に行く」と強がるが、そうはいかない。冬休みの終業式の日。4年生になって休んでおらず「あと1日行けば」と考えるのも無理はない。新型コロナウイルス第8波の波の中、少し前の学級閉鎖も乗り越えたのに、いよいよわが家にも、と覚悟した。

受診しよう、内科と小児科に電話するも手いっぱいの子供だ。た。「かかりつけ医」と断れることも。幼少時は別の市町に住んでいて、心当たりの医者が近くにいない。「かかりつけ医がいなくてもどうしたら」と質問して困らせてしまった。結局、抗原検査キットを買って2回試し、ともに陰性で「たぶん違う」と素人診断した。

娘は1月の始業式も休んだ。今度は私がしっかりと陽性になり、濃厚接触で妻と娘は自宅待機になった。

家庭内感染し、高熱の親が高熱の子を看病する修羅場のような自宅療養の家庭もあったと聞く。うちは私一人で、熱もなく、軽いせき程度。それでも隔離部屋からちよつとも出ようとすると、娘が「学校に行けなくなるでしょ」と一喝。きつと楽しく学校生活を送っているのだから。父のせいで学校を休むのが始業式の1日だけで済んでよかった。

(佐賀新聞社 宮崎勝)



一学期に学校で開かれた会議を終えた後、ちょうど給食時間に入るところだったので、感染症対策の一環で行われていた黙食の様子を廊下から拝見させていただきました。私の母校でもある小学校ですが、私が知っている楽しい給食の時間とはまるで違う空間でした。全員が前を向いて話もせず淡々と食事をすすめるだけで、校舎から聞こえてくるのは食器の音だけ。その光景に衝撃を受けました。楽しさやおいしさが伝わってきませんでした。

二学期に入り、3年ぶりに開かれた町のお祭りでは、飲食自粛などの制限はありましたが、仮装行列や昔遊びなどのイベントで盛り上がりました。年末には、学校で母校出身タレントによる140周年記念ライブが開

令和の子どもたちに学ぶ

鍋島小PTA会長 梶原 徹

このような時代でも子供たちは下を向かず時代と向き合っている、しっかりと過ごしています。私たち大人も昔と比較するだけでなく、今を強く生きる子供たちの姿勢から学ぶことはたくさんあると思います。

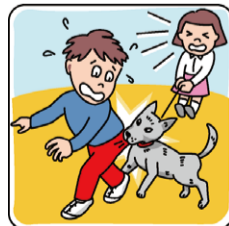


佐賀県PTA連合会推薦 小・中学生総合保障制度(こども総合保険)について

お子様の「ケガ」「育英費用」やお子様とご家族の「個人賠償責任」などに備えられます。

学校内はもちろん、放課後の遊戯中・クラブ活動中や休日のレジャー中の事故など様々なケガに備えられます。

他人にケガを負わせたり、他人のものを壊したりして法律上の損害賠償責任が生じた場合に備えられます。



この制度の詳細な内容はこちらからも確認いただけます。

AIG損害保険株式会社『お子さまのための総合保障制度』 <https://riskfinder.jp/school/>



※保険商品の概要を説明したものです。詳細につきましては取扱代理店にお問い合わせください。

○制度に関するお問い合わせ先: 0120-228-553 佐賀県PTA連合会保障制度事務局(取扱代理店:株式会社コーリン) 受付時間:平日午前9時~午後5時(土・日・祝日、年末年始を除く)

○制度引受保険会社: AIG損害保険株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社 Chubb損害保険株式会社

【令和4年度版: S-220487 (2023-03)】